第８回各務原市学校適正規模・適正配置等検討委員会

NEWSLETTER No.8

令和８年９月発刊

●本市の児童生徒は年々減少傾向にあり、加えて学校施設の老朽化が進んでいることから、子どもたちにとってより良い教育環境の見直しや整備が求められます。
●本市では、未来を担う子どもたちが、心豊かでたくましく自立した人間として育つよう、市内すべての小中学校を対象とした具体的な学校の再編や建替について「各務原市学校適正規模・適正配置等検討委員会」を設立し、調査・審議を進めています。



生徒ヒアリングや市民説明会でいただいた意見等について共有しました

６月から７月にかけて、全ての中学校区の生徒を対象に、学校生活や学校再編についてヒアリングを実施しました。子ども達からは、学校を友達との交流や多様な考え方に触れながら成長する場と捉える意見が多く、クラス替えや幅広い人間関係が生まれる複数クラスの環境を望む意見が多くみられました。

また、７月から８月にかけて、各地域で実施した市民説明会では、現状で適正な規模の学校をなぜ再編するのかといったご質問や、スクールバスの導入により地域と子ども達との関わりが希薄にならないか心配するご意見、学校再編や新しい義務教育学校を期待するご意見、義務教育学校になった際に制服や部活動がどうなるのかといったご質問など、多くのご意見やご質問をいただきました。

これらのご意見等を共有し、再編後の姿について、前回委員会にて決定した学校再編の将来イメージ（右図）とすることを改めて本委員会にて確認しました。

学校再編に向けたロードマップ案について審議しました

学校施設が築 80 年に到達する前に建替えを完了することを目指し、児童生徒数の将来推計を踏まえ、学校再編の順番や時期を整理したロードマップ（案）について審議しました。委員会において、学校ごとの基本構想・基本計画、設計、工事、開校までの流れを協議した結果、下記に示すロードマップ（案）で検討していくことになりました。

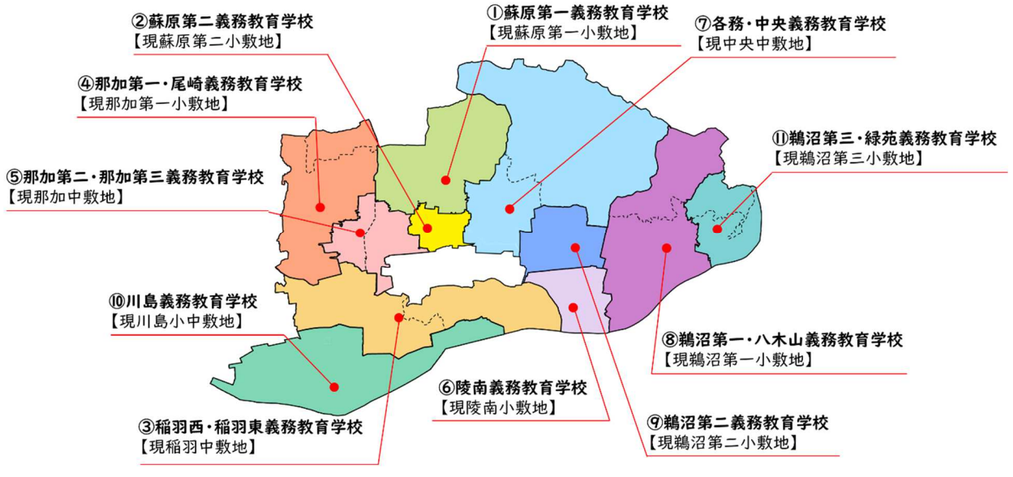
■各学校の整備スケジュールイメージ

1 年目	2 年目	・・・	3 年目	4 年目	5～8 年目	9 年目	10 年目
基本構想	基本計画		基本設計	実施設計	建築工事	解体・外構工事	併用開始(開校)

学校によっては期間が空く場合があります

■学校再編の将来イメージ（案）

※現時点での（案）であり、確定したものではありません。



■ロードマップ（案）

※現時点での（案）であり、確定したものではありません。

	現在の小学校区	対象	将来の姿 時期	再編内容	学校整備地	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度	R20年度	R21年度	R22年度	R23年度	R24年度	R25年度	R26年度	R27年度	R28年度	R29年度	---：同地域内で最も早く築80年に到来する年度
①	蘇原第一小校区	小中学生	令和１８年度	義務教育学校開校	現蘇原第一小										開校												R19年度 蘇原第一小
②	蘇原第二小校区	小中学生	令和１８年度	義務教育学校開校	現蘇原第二小										開校												
③	稲羽西小校区＋稲羽東小校区	小中学生	令和２０年度	義務教育学校開校	現稲羽中												開校										R20年度 稲羽中
④	那加第一小校区＋尾崎小校区	小学生のみ	令和１１年度	小学校統合	現那加第一小			統合										開校									R22年度 那加中
		小中学生	令和２１年度	義務教育学校開校																							
⑤	那加第二小校区＋那加第三小校区	小中学生	令和２１年度	義務教育学校開校	現那加中													開校									
⑥	陵南小校区	小中学生	令和２４年度	義務教育学校開校	現陵南小																開校						R23年度 鵜沼中
⑦	各務小校区＋中央小校区	小中学生	令和２４年度	義務教育学校開校	現中央中																開校						
⑧	鵜沼第一小校区＋八木山小校区	小中学生	令和２４年度	義務教育学校開校	現鵜沼第一小																開校						
⑨	鵜沼第二小校区	小中学生	令和２４年度	義務教育学校開校	現鵜沼第二小																開校						
⑩	川島小校区	小中学生	令和１１～１３年度頃	小中一貫教育モデル校化 ※施設隣接型義務教育学校開校	現川島小中				モデル校化															開校			R26年度 川島中
			令和２７年度	施設隣接型→施設一体型へ移行																							
⑪	鵜沼第三小校区＋緑苑小校区	小学生のみ	令和１１年度	小学校統合	現鵜沼第三小			統合																		開校	R35年度 鵜沼第三小
		小中学生	令和２９年度	義務教育学校開校																							

第８回委員会で出された主な意見を紹介します

・新たに各務原市に義務教育学校ができることによって地域が連携し、子どもたちに幅広い学びを提供できるようになってほしい。
・生徒ヒアリングや市民説明会での意見をみると、再編の方向性についてはおおむね理解いただいていると感じた。
・学校規模や義務教育学校についても、多少の不安はあるものの、期待感の方が大きいように感じた。
・子どもたちも地域の方々も、今回の取組に対して期待や楽しみを持ち、前向きに考えていると感じた。
・これから小学校や中学校に入進学予定の子どもを持つ保護者の中には、「このような学校に子どもを通わせたい」という思いを持つ人が多くいると思う。
・義務教育学校は子どもの学びを考える上で大きな可能性を持っていると感じた。一方、市民には義務教育学校のイメージが描けず、不安に感じている人もいる。どのような点がよいのかを、より丁寧に説明する必要がある。
・蘇原の説明会では、説明会内で出た否定的な意見と説明会後に寄せられた保護者からの肯定的な意見とで、大きく考え方が異なっていることが気になった。
・川島のモデル校については、小学校と中学校で分かれている組織を一本化することが必要だと思う。
・基本構想や基本計画の早い段階から、地域住民がどのような学校を望んでいるのか意見を聞いていく必要がある。
・市が検討している学校は、小規模校対策ではなく、一定規模を確保したうえで、さらによい教育を実現するという都市型の先進的な取組といえる。
・ロードマップについては、この流れで大きな問題はないと考える。

検討委員会の資料等をウェブサイトで公開中（右記二次元バーコード）

【お問合せ先】教育施設整備推進課　TEL：058-383-7302（直通）E-mail：kyseibi@city.kakamigahara.gifu.jp